

板橋区 第5回（仮称）産業ミュージアム基本構想・基本計画検討会 会議録	
会議名	（仮称）産業ミュージアム基本構想・基本計画検討会
開催日時	令和7年11月10日（月）14:00～16:00
開催場所	板橋区立グリーンホール 1階 101会議室
出席者	<p>[委員] 6人（敬称略）</p> <p>東京大学宇宙線研究所高エネルギー宇宙線研究部門乗鞍観測所所長教授 塔 隆志（会長）</p> <p>国立研究開発法人理化学研究所開拓研究所大森素形材工学研究室主任研究员 大森 整（副会長）</p> <p>株式会社トプロン総務・人事・法務本部総務部総務課プロフェッショナル 富田 克則</p> <p>国立大学法人お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所所長 加藤 美砂子</p> <p>チームオプト株式会社代表取締役社長 植田 博文</p> <p>理研計器株式会社経営企画部副部長兼経営戦略課長 下村 基子</p> <p>[事務局]</p> <p>板橋区産業戦略担当課長 山川 信也</p>
会議の公開	公開（傍聴できる）
傍聴者数	0名
議題	(1) （仮称）産業ミュージアム基本構想・基本計画
資料	（仮称）産業ミュージアム基本構想・基本計画中間（素案）
議事要旨	<p>会長</p> <p>これより第5回検討会を開始する。これまで基本構想・基本計画について議論してきた。本日は素案としてまとってきた内容について意見をお出しいただきたい。</p> <p>まずは事務局から配布資料のご説明を頂きたい。</p> <p>事務局</p> <p>配布資料（仮称）産業ミュージアム基本構想・基本計画（素案）」に沿って説明する。</p> <p>（資料説明）</p> <p>(1) （仮称）産業ミュージアム基本構想</p>

	<p>事務局</p> <p>「(仮称) 産業ミュージアム基本構想・基本計画(素案)」の内容を踏まえて、以下の3点を中心に議論いただきたい。</p> <p>① p.31 のクリエイティブラボについてご意見をいただきたい。クリエイティブラボは工具や画材、3D プリンターを置き、子どもたちが自由な発想で創作活動ができるクリエイティブ・ラーニングスペースとしてつくる予定。</p> <p>② 机上配布資料1の検討会委員の皆様のお名前と所属のご確認。また掲載しても良いかご判断いただきたい。</p> <p>③ 机上配布資料2の想定来訪者数をご確認いただきたい。日本全国や世界からの来訪者を見込み、将来的に50万人の来訪者数を見込む予定。目標値についてご意見をいただきたい。</p>
	<p>会長</p> <p>まずは②机上配布資料の検討委員会の名前と所属の掲載について懸念のある方がいればご意見をいただきたい。</p>
	<p>全委員</p> <p>問題ない。</p>
	<p>会長</p> <p>委員全員から問題ないと回答であるため掲載する方向とする。</p>
	<p>会長</p> <p>続いて②クリエイティブラボについてご意見はあるか。</p>
	<p>委員</p> <p>クリエイティブラボは子どもたちが自由な発想で工作できるという観点から非常に理想的。子どもたちを補助するメンターの配置が必要ではないか。自分でクリエイティブに取り組める子もいれば、目的やお題を必要とする子もいる。また、未来の発明王コンテストとタイアップを行い、受賞者の作品を作成するのも良いかもしれない。</p>
	<p>事務局</p> <p>発明王コンテストの前後のサポートとしての活用は非常に有意義。ぜひクリエイティブラボを使っていただきたい。また目的やお題についても理解し</p>

た。子どものタイプに応じて楽しめる環境を整備したい。さらに材料は板橋区内企業から端材等を調達してくることも考えている。

委員

子どもたちが工具を自由に使うというのは、安全面の心配もある。

事務局

おっしゃる通り、一定危険なものを扱う可能性もあるため、メンターの配置は必須。

委員

クリエイティブラボは保護者も一緒に参加しても良いのか。最近、このような取組みに対する保護者の参加意向が非常に高いと感じている。

事務局

もちろん保護者にも参加いただきたい。産業ミュージアムは子どもの年齢に合わせて親子で楽しめる環境を整えたい。例えばクリエイティブラボでは小学生がメンターと一緒に創作活動を行い、小さな子はキッズスペースで遊び、一緒に来た母親はカフェでくつろげる環境を提供できないかと考えている。

委員

導入する機器として、高度なものや3Dプリンターがあるのであれば高校生をターゲットにしても良いかもしれない。電気工作などもできるようにしてモーターとタイヤを付けて動くものが作れると面白い。

委員

和光の理化学研究所にも工作スペースがあり、以前はスペース担当が常時滞在をしていた。最近は常時配置が難しくなり、機器の使い方を教える講習会を開いて参加した人には通行手形を発行し、それを持っている人は自由に使っても良いという運用をしている。

事務局

それは非常に参考になる。また、クリエイティブラボはある程度広いスペースが必要と考えているため、産業ミュージアムは物理試験室と爆薬理学試験室の2つを使っていく予定だったが、解体する方向で検討を進めていた

	<p>マイクロ加工棟の活用も視野に入れている。</p> <p>委員 クリエイティブラボにはプラモデルなどの持ち込みも可能か。昨今はマンションに住んでいる子も多いため、騒音やごみ問題から創作がし難い環境であるため、その受け入れ先になると良い。</p> <p>事務局 クリエイティブラボとそれぞれのソフト事業が繋がるイメージを持っている。理系人材育成セミナーやワークショップで得た知識を元に、クリエイティブラボで具体的なモノづくりを行う流れをつくりたい。</p> <p>委員 他にも、例えば宇宙線の研究を行う高校生に場所を提供することは可能か。やる気のある高校生を集めることができると理系人材の育成に大きく寄与できる。</p> <p>委員 スーパーサイエンスハイスクールの高校生は想像以上にレベルが高い。メンターではサポートしきれない場合は、大学教授や区内企業との連携を深めていく必要がある。</p> <p>委員 p.29 にアートやデザインの話が入っている。これまでアートに関わる話は出てこなかったが、何か想定していることはあるのか。また、区内企業はアーティストやデザイナーとの連携は活発なのか。</p> <p>事務局 デザイン思考・アート思考は時代の潮流でもあるため積極的に導入していくと考えている。区内企業においてプロダクトデザインを行う際にも有効である。</p> <p>委員 社外のデザイナー、アーティストと連携していると言うよりは、社内デザイナーがいてプロダクトデザインを行っている。区内のアーティストやデザイナーと連携ができるのであれば今後行っていきたい。</p>
--	--

	<p>委員 板橋分所にいたときに、東京芸大の学生から金属のエイジングについて相談を受けたことがある。電気分解による金属のエイジングについて説明を行ったところ興味を示していた。芸術系の学生を呼込むことで新しい気付きがある。</p> <p>委員 板橋区には家政大学があるため、掛け合わせとしては可能性がある。</p> <p>委員 生物分野について電子顕微鏡で葉っぱの凹凸を見て、構造を真似することで撥水フィルムを作った実績がある。草花を活かしていくことは良い学びになるため、顕微鏡を設置しても良いかもしれない。子どもたちに自然への興味を切り口に関心を広げてあげることが大事。</p> <p>事務局 江戸時代の加賀藩時代に史跡のある場所には西洋の果物であったりんごが植えられていたり、先進的な植物があったため植物との親和性が高いと思われる。</p> <p>会長 続いて③机上配布資料 2 の議論に移りたい。50 万人の算出方法はどのようにになっているのか。</p> <p>事務局 詳細は割愛するが、板橋区及び近隣区の人口から小学生の人口を割り出し、その内約 10%が来場、リピート率 1.5、同行者 1 人の 2 人での来場を想定して算出している。</p> <p>委員 最終的な目標値である 50 万人となると 1 日当たり 1,300 人。まさに一般公開時が 1300 人であったと思うが人数規模的にどうだったか。</p> <p>事務局 まさに一般公開時の人数を想定している。正直かなり賑わいはあるが、来</p>
--	--

	<p>場時間が分散していれば無理ではない数字であることが立証できた。</p> <p>事務局 ツアーは 200 名前後参加し、2 部屋と廊下も含めて案内の対応をした。</p> <p>委員 公園は桜がきれいなので、観光シーズンの来場も見込める。</p> <p>事務局 おっしゃる通り板橋十景にも数えられているため、桜のイベントでカフェと連携をして集客したい。どこの観光地でも食をトリガーに集客しているケースが多いため、産業ミュージアムでも実施していきたい。</p> <p>委員 施設設備として駐車場がないことが気になる。観光バスも難しいのではないか。</p> <p>事務局 50 万人を目指していくには駐車場及び駅からの動線は課題と認識している。公共交通機関の利用を促し、さらには逆手に捉えて JR 板橋駅の再開発や商店街等も含めて面的に周遊してもらうことを考える必要がある。</p> <p>委員 想定来訪者数を設定したことは非常に有益であった。欲を言えば、火薬製造所全体を含めてこの倍くらいの人数にしていきたい。数字的な目標が立つことで課題が明確になってくる。</p> <p>事務局 現在は産業ミュージアムに限った想定来場訪者数ではあるが、今後、教育委員会と協議をし公園を含めた全体の試算をしていきたい。板橋区科学館の来訪者数が 20 万人程度であることから 50 万人はかなりチャレンジングな数字として置いている。</p> <p>委員 50 万人を目指すとなると駐車場問題の解決や学界の誘致など、やらなくてはいけないことが具体的になる。例えば学界の誘致では、200 人規模の研</p>
--	--

	<p>究会は多数存在するためその呼び込みに力を入れていくべきである。200名を産業ミュージアムに入れることができない場合は、他の建物を活用するか例えば公園内に別の建物を新設することも考え得る。</p> <p>事務局</p> <p>史跡指定地の中に建物を新築することは原則難しいが、検討の可能性はある。</p> <p>事務局</p> <p>JR 板橋駅前に新たに建設される設備は活用可能と考えられる。(ホール：200 m²、スタジオ：90 m²、その他スペース 3つ：50 m²) ホールには 100-150名が入ることが出来る。またハイライフプラザには 400 m²のスペースもある。</p> <p>委員</p> <p>50 名程の研究会も多々あるためその規模でも良いのではないか。都内で利便性の高い立地でスペースを借りられると非常に助かる。午前はワークショップ、午後は産業ミュージアムの施設見学をすることもできる。</p> <p>会長</p> <p>その他、全体的に気になる点があればご意見いただきたい。</p> <p>委員</p> <p>p.28 のイラストは産業ミュージアムの価値が広がっていくイメージだと思うが、より分かりやすくしたい。板橋区の外まで価値が広がっていくことを表しているのは非常に良い。</p> <p>事務局</p> <p>承知した。表現を検討する。</p> <p>委員</p> <p>産業ミュージアムのホームページは板橋区ホームページ内に作成予定か。</p> <p>事務局</p> <p>まだ未定であるが、自由度を高くすることを想定すると板橋区ホームページの外に設置する可能性もある。</p>
--	--

	<p>委員 パブリックコメントは本資料で実施しているのか。また件数はどの程度を見込んでいるのか。</p> <p>事務局 パブリックコメントは本日の素案資料で実施している。件数は区民に関係するものだと 100 件を超えるケースもある。産業ミュージアムはイベントの反響も多いので増える可能性はある。質問内容とその回答案は第 6 回検討会で共有をする。</p> <p>委員 p.24 の 5 つの基本方針の 2-5 はどこの自治体でも共通の事項であるため、板橋区ならではの特徴を出すことを意識すると良い。例えば、板橋区民の誇りを育てるこを見越して、板橋区は“理系人材育成”を言い切っても良い。教育熱心な親は学区を目指して引っ越すもある。</p> <p>事務局 おっしゃる通り、板橋区に住みたくなるようなブランディングに繋げていきたい。</p> <p>委員 5 つの基本方針の 2 には双方向のコミュニケーションという記載がある。クリエイティブラボのメンターはまさにそうであるが、他にも想定はあるのか。</p> <p>事務局 一般的に学芸員は一方通行で説明をするイメージだが、産業ミュージアムはコミュニケーターの位置付けで来場者とコミュニケーションを取り展示や企画もブラッシュアップをしていく。また、この地で実際にどのようなことがあったかなどを口頭で伝えていけると面白い。例えばご厚意にしていただけたお寿司屋さんの息子が別のお店を開いていることなど、どこの本にも書いていないことが話で伝わることに来場者は非常に魅力的に感じるはず。</p> <p>委員 それで言うと実は卓球台以外にも病院の間の道でバドミントンをしてい</p>
--	--

	<p>た。当時は車の通り抜けが出来なかつたので実施できていたが、近所の人が通り抜けさせて欲しいと申し入れがあつて、ネットを外したというエピソードもある。</p> <p>事務局</p> <p>バトミントンは 1970 年ごろ所属していた女性の証言としても残つている。運動すると汗をかくのでシャワーを設置して欲しいと言う要望をだしてシャワー室がついたという経緯もある。</p> <p>委員</p> <p>産業見本市のパネルディスカッションでは何を話すのか。</p> <p>委員</p> <p>板橋と産業ミュージアムの歴史から始まり、宇宙線研究、理化学研究所の歴史についてエピソードを語り、歴史と未来が繋がっていくようにまとめていく想定。</p> <p>委員</p> <p>本施設における火薬研究の扱いはどのようにするのか。</p> <p>事務局</p> <p>火薬は野口研究所で取り扱う。ただレールや井戸などは火薬に紐づくものになるので、それは紹介する予定。</p> <p>事務局</p> <p>以上にて質疑を終了とする。次回の第 6 回検討会は、12 月 22 日(月)9:00-11:00 に板橋区役所本庁舎 11 階の第二委員会室にて実施する。基本構想・基本計画の原案をお示ししつつ、今後の取組についてご意見をお伺いする予定。</p> <p>会長</p> <p>これにて第 5 回検討会を終了する。</p>
所管課	産業経済部 産業振興課 産業遺産担当係 (電話 03-3579-2430)